

# 2007 年度夏学期 教育臨床心理学(担当:前田)期末試験問題

## 受験上の注意

1. 教科書、授業中の配布資料、ノート、携帯電話、電子辞書の持込みは一切不可とする。
2. 解答用紙の表裏両面を用いても足りない場合は、手を挙げてもう1枚要求すること解答用紙が2枚になったときには、2枚ともに学年、番号、氏名等、必要事項をすべて記入し、解答用紙の右上に「1枚目」「2枚目」と大きく明記すること。
3. 試験時間は90分である。
4. 解答する順は問題順でなくてもかまわないが、どの問題の解答かわかるように、解答する際には問題の番号を明記すること。

【問題1】 以下に示す子どもを虐待する親の心理について、次の[ ]内の語句をすべて用いて説明せよ。[合理的な原因、不合理な原因、攻撃の情動表出説、ストレス]

エツ子さんは32歳の主婦。家族は夫と3歳のコウタロウ君、生後9ヵ月のマリ子ちゃんの4人である。会社員の夫は朝6時に家を出て夜9時ころ帰ってくる。エツ子さん一家は最近、今住んでいる大型マンションに引っ越してきて、エツ子さんは近所との付き合いもほとんどない。そんなある日、泣き止まないマリ子ちゃんに腹を立てたエツ子さんがマリ子ちゃんを何度も何度も強く叩いてしまった。

【問題2】 普段は口数の少ない、おとなしい男子生徒を、ある女子生徒が軽い冗談のつもりでからかったところ、本当にごく些細なことだったにもかかわらず、その男子生徒がキレて突然その女子生徒を殴る蹴るという暴行事件が起こった。加害者の男子生徒はどうしてこのようなことになったのか。精神分析理論に基づいて説明せよ。

【問題3】 会社でイヤミな上司から毎日いじめられているある会社員が、(1)胃炎、(2)カゼをひきやすい、(3)持病の糖尿病の悪化、(4)心臓病、(5)不眠の症状が次々と現れて悩まされている。その会社員に(1)～(5)の症状が起こったのはなぜだと考えられるか論述せよ。

【問題4】 自己愛性人格障害と呼ばれる特徴的な性格傾向について説明せよ。なお、解答にあたっては、自己確証理論の内容を必ず含まなければならないとする。

【問題5】 西ヨーロッパ・アメリカの文化圏において、いわゆる「拒食症」「過食症」が生じてきた歴史的経緯および社会的背景について説明せよ。